

きよめられるために、自分の罪を告白しなければなりません。そしてイエス・キリストを神の子、救い主と信じなければなりません。そして、自分の罪がすべて洗い流されてきよめられたことのしるしとして、洗礼を受けなければなりません。

私たちは、自分の力で心をきよめることはできません。しかしイエス・キリストの力を信じることによって、心をきよめていただくことができるのです。

4. 神を見る

イエス・キリストは、心のきよい人は、神を見るようになると言われました。ここで使われている「見る」という言葉は、ギリシャ語の「オラオー」という言葉ですが、この言葉は「経験する」とも訳される言葉です。

またこの言葉は、英語では「see」と訳されます。英語の「see」は「分かる」「悟る」という意味もあります。

イエス・キリストがここで、私たちが神を見るようになると言われたことの意味の一つは、私たちが神を経験するようになる、神が分かるようになるという意味です。私たちは、神の子であるイエス・キリストを信じる時に、神との関係を回復します。そして神が私たちと共にいてくださることによって、私たちは神を経験し、神がどのような方分かるようになるのです。神が祈りを聞いてくださったり、神が聖書を通して慰めたり、励ましたり、進むべき道を示してくださることによって、神を経験していくのです。そのようになるのです。

皆さんの中で、自分の心をイエス・キリストにきよめてもらいたいと思う方はいますか？また神を経験してみたい、また神が分かるようになりたいと思う方はいますか？その方はぜひ教会の礼拝にお越しください。



【集会案内】

礼拝
毎週日曜日 ①部 9:00~10:00 ②部 11:00~12:00
教会の中心的な集会です。ぜひ手ぶらで、気軽にお越しください。
聖書を読む会
毎週木曜日 10:00~11:30
聖書を読みたいけれど、一人では難しく、よく分からないという方は、ぜひお越しください。
◆より詳しく知りたい方は、お気軽に下記までご連絡ください。

日本長老教会
さがみのキリスト教会
神奈川県相模原市南区相模台 5-10-5
TEL/FAX : 042-748-8848

HP : <http://www.ofgod.org/>



心のきよい者は幸いです
その人たちは神を見るから
です

中村信哉

さがみのキリスト教会牧師

「心のきよい者は幸いです。
その人たちは神を見るからです。」
マタイの福音書5章8節



なぜ私たち人間の心は、罪の性質を持つようになったのでしょうか？それは、人類最初の人であるアダムとエバが神様の命令に背いて、禁断の木の実を食べたからです。その時からすべての人間は、生まれながらにして罪の性質を持つようになったと聖書は教えています。

2. 心に向き合う

私たちは、「心のきよさ」こそ求めなければなりません。私たちの心がきよくなれば、私たちの行いもきよくなります。また私たちの心がきよくなれば、私たちの言葉もきよくなります。私たちの内側を変えれば、私たちの外側も変わってくるのです。

しかし昔から人間は、内側を変えるよりも外側を変えようとしています。

神様は、私たちの外側ではなく、私たちの心を見ておられるのです。私たちは人間の目ばかり意識して生きている時は、目に見える外側のものを整えようと必死になります。しかし神様の目を意識して生きていくようになると、私たちは自分の心と向き合わざるを得なくなるのです。神様は、私たちの心のあり方を求めておられるからです。

3. 心を清める

私たちの心は、罪の性質に満ちています。自分の心に誠実に向き合えば向き合うほど、自分の心の中には、妬み、憎しみ、赦せない心、淫らな思い、自己中心などがあることが分かります。ではどうすれば、私たちは心をきよくすることができのでしょうか？
聖書には、こうあります。

1. 人間の心

イエス・キリストは、心のきよい人は幸せであると言われました。私たちの心はどうでしょうか？私たちの心は果たして「きよい」と言えるのでしょうか？

聖書は、私たちの心についてこのように言っています。「人から出て来るもの、それが人を汚すのです。内側から、すなわち人の心の中から、悪い考えが出て来ます。淫らな行い、盗み、殺人、姦淫、貪欲、悪行、欺き、好色、ねたみ、ののしり、高慢、愚かさで、これらの悪は、みな内側から出て来て、人を汚すのです」(マルコ7:20-23)。人間のあらゆる悪は、私たちの心の中から出て来ると聖書は言います。聖書は、私たちの心は罪に満ちていると言っています。

私たち人間には、心は見えません。見えるのは、その人の外見、行い、財産などです。ですから私たちは、人の目には見えない心の問題に取り組むよりも、人の目に見える外見、行い、財産を得ることなどに一生懸命に取り組みます。より美しくなること、より格好よくなること、人に親切にすること、社会に貢献すること、仕事で成功すること、家を買うこと、車を買うことなど。私たちは目に見える外側のものだけに一生懸命に取り組みます。

私たち人間は、昔も現代も、目に見える外側のものばかりに心を奪われて目に見えない自分の心と向き合わずに生きようとしてしまいます。目に見える外側の豊かさで、目に見えない自分の心の貧しさを隠そうとします。

しかし聖書は、このように言います。「人はうわべを見るが、主は心を見る」(1サムエル記16:7)。

「御子イエスの血がすべての罪から私たちをきよめてくださいます」(1ヨハネ1:7)。またこうもあります。「もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます」(1ヨハネ1:9)。

イエス・キリストは神の子です。イエス・キリストは二千年前に、神から遣わされてこの地上に来られました。そして私たちの罪を償うために、十字架で血を流され、死なれました。そして三日目によみがえられて、御自身が神の子であることを公に示されました。イエス・キリストこそ、私たちの心をきよめてくださる唯一の方です。神の子が十字架で流してくださった血こそが、私たちの一切の罪を洗い流してくださるのです。私たちは、心が